

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：32508

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2019～2023

課題番号：19H05732

研究課題名(和文)人工的環境の構築と時空間認知の発達

研究課題名(英文)Creation of Artificial Landscape and Development of Spatiotemporal Cognition

研究代表者

鶴見 英成(Tsurumi, Eisei)

放送大学・教養学部・准教授

研究者番号：00529068

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 219,380,000円

研究成果の概要(和文)：ヒトの棲息範囲の広さは全生物の中で異例であるが、それはヒトのどのような性質によるものか。南北アメリカ、日本列島、オセアニアには旧人が到達せず、それぞれに移住したヒトの集団が地域を越えて長らく交流しなかった。そのため、自然環境に対するヒトの認知や行動の発現を、アフリカやユーラシア以上に純粹に観察できる。本計画では神殿ピラミッド、古墳、都市遺跡を主対象として調査し、過去の天体運行を含む環境データや、歴史・民族誌資料を参照して、それらの人工的環境が構築された背景を分析した。それにより、ヒトは時空間をどのように認識し操作するのかという認知科学の課題に対し、考古学的手法からアプローチすることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

文明研究の主たる対象とされてこなかった出ユーラシア地域が、人類史における文明形成の実態を問う上で逆に有効であることを示し、その中で地域間比較を行うことで新たな文明論を提示したという学術的意義は大きい。また研究の手法として、従来より高精度・広範囲な遺跡・地形測量図や、データベース、天体運行シミュレーターなどを作成したが、それらを国際的に公開、あるいは地域社会に提供することで、学術的にも社会的にも意義深い情報発信を行った。

研究成果の概要(英文)：What characteristics of humans made their geographic range of habitation exceptionally large among all living things? The Americas, the Japanese archipelago, and Oceania are free from legacies of the archaic humans, and the modern human populations that migrated to these lands did not interact with each other across the regions until the Age of Discovery. This is why we expect to find the expression of human cognition and behavior toward the natural environment in Out-of-Eurasia regions more obviously than in Africa and Eurasia. In this project, we investigated mainly temple pyramids, mound tombs, and cities, and analyzed the background of the construction of these artificial environments by referring to environmental data, including past celestial movement, historical materials and ethnographic records. This allowed us to approach the issues of cognitive science of how humans perceive and manipulate space-time from an archaeological perspective.

研究分野：考古学

キーワード：モニュメント メソアメリカ アンデス 古墳 オセアニア 天文シミュレーション LiDAR 人類史

1. 研究開始当初の背景

人類史における「文明形成」過程に共通しているのは、それまでの生活の基本であった遊動的な狩猟採集生活で進化してきた、社会的規範や行動パターンなどが大きく転換していったことにある。この現象は人類学、心理学など多くの分野にわたる重要な研究課題とされてきたが、従来は自然と文化、心と物質という概念が所与のものとして二項対立的にとらえられ、還元論的に分析されてきた。これに対して本研究領域では「身体を介したモノと心の相互浸潤」という観点に立ち、相互の関係とその動態的变化を包括的に解明することを目指している。本研究班はとくに考古学における論点のうち、社会や経済の発展に結びつく要素と見して重視されてきた、モニュメント建築(大規模な公共建造物)に主眼を置きつつ、新たな観点からの論考を示すべく立案された。

2. 研究の目的

(1) 文明を「身体を介したモノと心の相互浸潤」ととらえる作業仮説を、物質的環境から考古学の手法によって検証し、さらにデータから新たな理論形成を試みて、より実態に近い文明の動態論を構築する。

(2) さらに他の研究班と連携し、認知科学・脳神経科学、人類学との統合的研究を推進し、領域全体としての新たな理論形成に貢献する。

3. 研究の方法

旧人が到達しなかった出ユーラシア地域では、ヒト(遺伝子・身体・脳)特有の文化が生み出され、それにより形成される人工的環境や社会的規範がヒト特有のニッチ(適応環境)となったと考えられる。モニュメント建築や都市は人工的環境を大きく規定する要素であるが、そこから当時のヒトの時空間認知の特徴をとらえ、それが人工的環境とどのように相互作用していたかを解明することが、基本的な研究方針である。そのための主たる方法として、神殿・都市・墳墓などの現地調査による必要なデータの収集、考古学ならびに民族誌・歴史・環境史などを含めたデータの収集と整理、人為の及ばない天体運行の高精度なシミュレーションを行い、それによってヒトの時空間認知のありかた、人工的環境の特徴について総合的に検討する。

なお2020年度以降は、新型コロナウイルスの国際的流行のために、現地調査、とくに海外調査の実施計画が大きな制約を受けることとなった。21年度からメキシコとエルサルバドル、22年度からペルーとエクアドルとバヌアツ、23年度からミクロネシア連邦での活動が可能となったが、それに先駆けて各自が「および」の方法を適宜選択して、最終的な研究目標を達成できるよう努めた。

4. 研究成果

(1) メソアメリカ

杉山三郎はメキシコの現地協力者らと連携して、都市遺跡テオティワカンでの発掘調査を主軸として、モンテアルバン遺跡、 Cholula 遺跡、アステカ王国大神殿などにおいても踏査と測量を実施した。測量調査を本格的に開始したのは21年度からで、ドローンとハンドヘルドのLiDARによって広大な範囲を網羅的に測量し、また写真測量やスキャナー計測を使い分けて、モニュメント建築のみならずその周辺の地形や、住居複合体などの遺構群、石彫、地下界を象徴する洞窟・トンネルなどを対象として、人工的環境の全容を把握するためのきわめて厚いデータを獲得した。後述の arcAstro-VR による天文景観の分析が今後期待される。

伊藤伸幸(20~22年度公募研究)は21年度よりエルサルバドルのチャルチュアバ遺跡において、火山活動を含む自然地理学の分析とあわせて、居住の開始から都市空間の創成にいたる過程の再構成を図った。21年度は空中写真を用いた地形判読、22年度にエル・トラピチェ地区での発掘を実施し、この地域に伝統的な土製建造物の構造を解明した。

(2) アンデス

山本睦はペルー北部熱帯低地のインガタンボ遺跡や、エクアドル南部セロ・ナリオ遺跡など、植生の濃い環境でモニュメント建築のLiDAR測量を計画し、19年度からその準備のための踏査や踏査を実施した。ハンドヘルドLiDARを伴って渡航し、測量できたのは22~23年度であったが、その準備として20~21年度は現地協力者に依頼してドローン写真測量とRTK-GNSS測量を実施し、測量の精度と効率を高めた。

鶴見英成はペルー北部ヘケテベケ谷のモニュメント建築群を調査対象とし、2019年度には山本とともにテルレン=ラ・ボンバ遺跡のドローン写真測量を実施した。20年度からは、20世紀中葉の古い航空写真を網羅的に入手し、3Dモデルを作成して土地開発前の谷全体の地形を復元し、21年度には谷内の遺跡群の空撮とRTK-GNSS測量を進めた。

松本剛（20～22年度公募研究）はペルー北部海岸部の森林に覆われたシカン遺跡にて、22年度より発掘およびハンドヘルド LiDAR 測量に着手した。モニュメント建築や墓群を擁する都市構造を測量する中で、微地形を検出することにより、広がる耕作地との空間的關係を明らかにした。23年度は山本の研究協力者として測量を続け、図化範囲を拡大した。

（3）日本

北條芳隆は2019年度、古墳や神社等の方位、近世城郭の天守閣の正面観と、周辺景観・天文景観との關係を問う目的で、踏査、事例集成、図上分析から着手した。20年度より地中レーダー探査機を導入し、21～23年度に各地の遺跡・古墳の地下探査を実施して、特に岡山県造山古墳をはじめとする古墳の埋葬施設の軸線について知見を深めた。また arcAstro-VR によって、佐賀県吉野ヶ里遺跡の天文景観を検証し、さらに弥生時代の暦について論考を提示した。

笹生衛は3種のデータベースを構築した。第1に、人体や死者への古代人の認知を読み解く情報として、縄文・弥生・古墳時代の遺体・人骨の基礎データから成る「遺体・人骨データベース」、第2に「延喜式内社データベース」、第3に「祭祀遺跡データベース」である。情報収集・整理とあわせて、入力フォーマット、公開フォームの設計を進め、23年度末時点で第2・第3のデータベースを一般公開し、それを活用して古代の祭祀景観の分析へと進んだ。（<https://d-museum.kokugakuin.ac.jp/database/#ss>）

光本順は岡山大学の研究協力者たちと共に、県下の数々の古墳を高精度測量し、自然地形を含む広域景観を分析する計画を進めた。2020～23年度にかけて、ドローンによる LiDAR 測量の技術的課題を随時検証しつつ、造山古墳群、作山古墳などの一帯でデータを集積した。またリモートセンシング分野との連携で、画像解析からかつての地形を探り、周濠の存非という課題に取り組んだ。

（4）オセアニア

後藤明は、2019年度に片岡修（研究分担者、19年度まで）らとミクロネシア連邦ポーンペイ島でナンマトルなど巨石遺跡群を踏査し、測量と発掘の対象地を検討した。またポーンペイ島での空挺 LiDAR 測量に着手した米国の研究グループと情報交換を行い、20年度にはオンライン国際セミナーに招待して協力体制を構築した。21年度は民族誌資料や文献資料の分析を進め、22年度は原初舟研究の総括と実験航海を行った。渡航可能になった23年度に米国と共同でポーンペイ島の測量および現地踏査を実施した。

野嶋洋子は2019年度に後藤らのナンマトル踏査に参加し、また自身の主要な研究対象としてバヌアツのウレパラパラ島の祭祀遺跡群の現状把握調査を行い、次年度以降の測量調査を立案した。20～21年度は日本国内でデータ整理を進めた後、22～23年度に入国して祭祀遺跡群の簡易測量を実施し、多彩な板石積み構築の様相を解明し、また地形との關係を考察した。

山口徹（研究分担者、20年度から）は、北部クック諸島での現地調査は実施できなかったものの、民族誌資料や自然史資料の検討、年代測定や衛星画像の解析を行った。祭祀遺跡に関する民族考古学研究や、過去の自然災害と復興など島嶼景観のジオ考古学研究について論考をまとめるとともに、オセアニア海洋島の景観研究の国際シンポジウムを主催するなど発信に努めた。

（5）天体シミュレーションソフト arcAstro-VR

関口和寛は、後藤や北條らとともに、天体を含めてヒトの認知する景観を分析するための、天文シミュレーションソフトの開発に取り組んだ。既存のプラネタリウムソフトウェアである Stellarium をベースとして、自然地形や遺構の3次元データを取り込むことで、暦年代上の任意の時点における天体運行を正確に再現して、人工的環境における眺望を仮想3D空間において主観的に分析できるツールである。これを援用して北條は吉野ヶ里遺跡の天文景観を分析した。また光本らによる造山古墳の測量データもシステム内に加わり、さらに杉山らのテオティワカン遺跡のデータ入力が進められた。（<https://arcastrovvr.org/ja/>）

（6）成果発表

19年度（メキシコ）、22年度（ハワイ）、23年度（東京）に班として国際会議を開催して、海外研究者を迎えて討論を行ったのに加え、メンバーが特定のテーマに即して国際・国内学会で研究発表する機会をたびたび設け、議論の精緻化を図ってきた。

道具を作るようになったヒトは、世界を認識するのみならず、目的・志向性をもって世界の操作を試みるようになった。出ユーラシア地域の環境に相対したヒトの「時空間認知」という認識の過程と、「人工的環境」という操作の結果として、A01 班の研究成果を整理・総括して世に示すべく、24年度に図書を刊行する予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計66件（うち査読付論文 32件 / うち国際共著 14件 / うちオープンアクセス 34件）

1. 著者名 De Anda, R., L. Lopez, S. Sugiyama	4. 巻 181
2. 論文標題 El resurgimiento del Templo Mayor: Los proyectos arqueologicos en la piramide principal de Tenochtitlan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Arqueologia Mexicana	6. 最初と最後の頁 16-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Goto, A.	4. 巻 -
2. 論文標題 The Watercraft of Out-of-Eurasia Groups: A Review, a Re-evaluation and Prospects	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 In: Goto, A., N. Matsumoto (eds.) 'Trekking shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of "Out of Eurasia" Civilizations'	6. 最初と最後の頁 70-85
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Ito, N.	4. 巻 -
2. 論文標題 Los Monumentos Lisos en Mesoamerica	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 XXXVI Simposio de Investigaciones Arqueologicas en Guatemala, 2023	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nojima, Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Ceremonial Landscape in Island Melanesia: The gamal complex of the Banks Islands, Northern Vanuatu	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 In: Goto, A., N. Matsumoto (eds.) 'Trekking shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of "Out of Eurasia" Civilizations'	6. 最初と最後の頁 229-242
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Sekiguchi, K.	4. 巻 -
2. 論文標題 arcAstro-VR for Archaeoastronomy	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 In: Goto, A., N. Matsumoto (eds.) 'Trekking shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of "Out of Eurasia" Civilizations'	6. 最初と最後の頁 141-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi, T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Direct historical approach to ritual landscape in Tongareva Atoll, the Northern Cook Islands	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 In: Goto, A., N. Matsumoto (eds.) 'Trekking shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of "Out of Eurasia" Civilizations'	6. 最初と最後の頁 219-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤伸幸	4. 巻 7
2. 論文標題 横位に出土した素面 " 石碑 " に関する一考察	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 名古屋大学人文学研究論集	6. 最初と最後の頁 389-408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤明	4. 巻 891
2. 論文標題 海ノ天 (あま) の人類学	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 青淵	6. 最初と最後の頁 14-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹生衛	4. 巻 -
2. 論文標題 古代の交通路と祭祀の景観 祭祀・祭具の意味と古代末期の変化を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 佐々木虔一・笹生衛・菊地照夫編『古代の交通と神々の景観 港・坂・道』	6. 最初と最後の頁 51-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹生衛	4. 巻 145
2. 論文標題 新たな視点で考える三輪山の古代祭祀	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 大美和	6. 最初と最後の頁 10-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮原俊一・北條芳隆・白川美冬	4. 巻 114
2. 論文標題 地中レーダーによる遺跡探査報告 (2 福島県郡山市大安場古墳群・蒲倉古墳群、大玉村傾城壇古墳	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 東海大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 25-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口徹	4. 巻 -
2. 論文標題 絡み合いの景観論 - 祭祀景観をめぐる民族考古学的試み	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 河合洋尚、松本雄一、山本睦 (編) 『景観で考える：人類学と考古学からのアプローチ』	6. 最初と最後の頁 144-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本睦	4. 巻 -
2. 論文標題 景観をめぐる時間の多様性 繰りかえし築かれ、利用される神殿	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 河合洋尚、松本雄一、山本睦（編）『景観で考える：人類学と考古学からのアプローチ』	6. 最初と最後の頁 106-124
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito, N., S. Kitamura	4. 巻 -
2. 論文標題 La gigantesca erupcion volcanica en la frontera mesoamericana	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Aoyama K. and R. Liendo (eds.) Mesoamerica: El Estudio de sus Procesos de Transformacion Social desde una Perspectiva de Larga Duracion	6. 最初と最後の頁 105-118
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Mitsumoto, J., J. Ryan, Y. Yamaguchi, A. Seike	4. 巻 97(391)
2. 論文標題 LiDAR survey of the fifth-century Tsukuriyama mounded tomb group in Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Antiquity	6. 最初と最後の頁 E6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15184/aqy.2022.167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Nojima, Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Ceremonial Landscape in Island Melanesia: the gamal complex of the Banks Islands, Northern Vanuatu	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Trekking shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of “Out of Eurasia” Civilizations, the Out of Eurasia Hawai’i Conference March 2-3, 2023	6. 最初と最後の頁 229-242
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama, S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Chapter 8: the Nature of Early Urbanism at Teotihuacan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Early Mesoamerican Cities: New Perspectives on Urbanism and Urbanization in the Formative Period, edited by M. Love and J. Guernsey	6. 最初と最後の頁 170-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/9781108975124.008	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama, N., S. Sugiyama, C. Cagnato, C. A. M. France, A. Iriki, K. S. Hughes, R. R. Singleton, E. Thornton, and C. A. Hofman	4. 巻 119(47)
2. 論文標題 Earliest evidence of primate captivity and translocation supports gift diplomacy between Teotihuacan and the Maya	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PNAS	6. 最初と最後の頁 e2212431119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2212431119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto, A., O. Arias, J. Vargas	4. 巻 112
2. 論文標題 View from the North: New Data from Cerro Narr?o and Its Implications for Understanding the Interregional Interactions in the Central Andes	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Senri Ethnological Studies (New Perspectives on the Early Formation of the Andean Civilization: Chronology, Interaction, and Social Organization), Yuji Seki (ed.)	6. 最初と最後の頁 323-346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00010056	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 伊藤伸幸	4. 巻 6
2. 論文標題 チャルチュアバ遺跡における素面石碑	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 名古屋大学人文学研究論集	6. 最初と最後の頁 341-368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/jouhunu.6.341	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤明	4. 巻 311
2. 論文標題 洪沢敏三と海洋文化研究（コメントにかえて）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本民俗学	6. 最初と最後の頁 159-170
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.34560/nihonminzokugaku.311.0_159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 後藤明	4. 巻 161
2. 論文標題 太平洋諸島・小笠原諸島	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 80-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤明	4. 巻 22
2. 論文標題 アンソロポリウムの実践について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 人類学研究所通信	6. 最初と最後の頁 23-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤明	4. 巻 12
2. 論文標題 大林太良の考古学・日本古代史研究	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 人類学研究所研究論集	6. 最初と最後の頁 74-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 北條芳隆	4. 巻 78
2. 論文標題 弥生時代末の厩を考える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 貝塚	6. 最初と最後の頁 21-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北條芳隆	4. 巻 10
2. 論文標題 纏向古墳群と周辺景観	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 纏向学の最前線 (纏向学研究)	6. 最初と最後の頁 185-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 光本順, ライアン・ジョセフ, 山口雄治	4. 巻 26
2. 論文標題 岡山県津山市佐良山古墳群内におけるUAV-LiDAR測量	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本情報考古学会講演論文集 (第46回大会)	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口徹	4. 巻 -
2. 論文標題 歴史生態学と解釈考古学の節合 - オセアニアの環礁景観を事例に -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本考古学協会第88回総会研究発表要旨	6. 最初と最後の頁 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本睦、大谷博則	4. 巻 25
2. 論文標題 ペルー北部、インガタンボ遺跡の測量調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 古代アメリカ	6. 最初と最後の頁 53-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Burger, R., E. Tsurumi, M. Boulanger, K. Rademaker, V. Belisle and M. Glascock	4. 巻 42(2)
2. 論文標題 Sayrosa, a Minor Obsidian Source in the Puna of Arequipa.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nawpa Pacha; Journal of the Institute of Andean Studies	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00776297.2022.2029157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito, N	4. 巻 18
2. 論文標題 Linaje de trono en Mesoamerica: desde los olmecas hasta los mayas.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Perspectivas Latinoamericanas	6. 最初と最後の頁 61-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15119/00003976	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama, N., S. Sugiyama, T. Catignani, A. Chase, J. Fernandez-Diaz	4. 巻 16(9)
2. 論文標題 Humans as geomorphic agents: Lidar detection of the past, present and future of the Teotihuacan Valley.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0257550
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0257550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto, A.	4. 巻 129(2)
2. 論文標題 Complexities of regional and interregional interactions during the Formative Period in northern Peru: New perspectives from Ingatambo, Huancabamba Valley.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 133-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1537/ase.210409	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤伸幸	4. 巻 5
2. 論文標題 メソアメリカ南東部太平洋側の素面の祭壇石彫	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 名古屋大学人文学研究論集	6. 最初と最後の頁 335-370
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/jouhunu.5.335	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小野林太郎・山野ケン陽次郎・片岡修・Jason Barnabas・長岡拓也・片桐千亜紀・山極海嗣	4. 巻 41
2. 論文標題 東マイクロネシアにおける人類の移住年代と貝利用 ポーンベイ島での最近の発掘成果より	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東南アジア考古学	6. 最初と最後の頁 57-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 後藤明	4. 巻 77
2. 論文標題 ハワイ諸島における考古天文学的研究 近年の研究展望	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 貝塚	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹生衛	4. 巻 264・265
2. 論文標題 [災い] 神を変える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 神道宗教	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北條芳隆	4. 巻 29
2. 論文標題 大廓型壺の胎土を考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 西相模考古	6. 最初と最後の頁 65-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本剛・丸子真祥・ガブリエル ビジェガス・ガブリエラ デ ロス リオス	4. 巻 24
2. 論文標題 パレテアダ土器とはなにか 近年の発掘調査および遺物分析の結果から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 古代アメリカ	6. 最初と最後の頁 51-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 光本順・山口雄治・ライアン ジョセフ	4. 巻 1
2. 論文標題 LiDAR測量による岡山県赤磐市鳥取上高塚古墳の墳丘の検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文明動態学	6. 最初と最後の頁 67-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18926/63028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口徹	4. 巻 46(4)
2. 論文標題 民族資料を精読する - 旧オランダ領ニューギニアの犬形木彫彫像 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15021/00009893	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goto, A.	4. 巻 25
2. 論文標題 Jizo (Ksitigarbha) Statues under Palm Trees: The Materialization of Early Japanese Immigrant Culture in Hawai'i	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Historical Archaeology	6. 最初と最後の頁 648-662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10761-020-00570-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito, N.	4. 巻 1
2. 論文標題 La arquitectura de tierra en Mongoy y Chay, Kaminaljuyu	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arquitectura de Tierra Mesoamericana	6. 最初と最後の頁 121-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanezaki, Y., T. Omori, and E. Tsurumi	4. 巻 32
2. 論文標題 Emergence and Development of Pottery in the Andean Early Formative Period: New Insights from an Improved Wairajirca Pottery Chronology at the Jancao Site in the Hu?nuco Region, Peru	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Latin American Antiquity	6. 最初と最後の頁 239-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/laq.2020.89	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Manrique-Ortega, A., S. Sugiyama, et al.	4. 巻 35 (13)
2. 論文標題 Material study of green stone artifacts from a Teotihuacan complex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Materials and Manufacturing Processes	6. 最初と最後の頁 1431-1445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10426914.2020.1743855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsumoto, N. & S. Sugiyama	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction - The "Out of Eurasia" Project: Objectives and Strategies of Transdisciplinary Studies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In N. Matsumoto, et al. (eds.) Landscape, monuments, arts, and rituals out of Eurasia in biocultural perspectives. Proceedings of an international conference in Mexico, February 27-28, 2020	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mitsumoto, J.	4. 巻 -
2. 論文標題 LiDAR Mapping of the Tsukuriyama Kofun Group: Research History of Three-Dimensional Surveys	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In N. Matsumoto, et al. (eds.) Landscape, monuments, arts, and rituals out of Eurasia in biocultural perspectives. Proceedings of an international conference in Mexico, February 27-28, 2020	6. 最初と最後の頁 45-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sekiguchi, K. & H. Takata.	4. 巻 -
2. 論文標題 Visualization of Archaeological Structure Data with Astronomical Objects	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In N. Matsumoto, et al. (eds.) Landscape, monuments, arts, and rituals out of Eurasia in biocultural perspectives. Proceedings of an international conference in Mexico, February 27-28, 2020	6. 最初と最後の頁 53-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama, S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction to the “Out of Eurasia” Project: Theoretical Perspectives of Mesoamerican Landscape, Monument, and (Sacrificial) Ritual Studies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In N. Matsumoto, et al. (eds.) Landscape, monuments, arts, and rituals out of Eurasia in biocultural perspectives. Proceedings of an international conference in Mexico, February 27-28, 2020	6. 最初と最後の頁 15-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama, S. & C. Garcia-Des Lauriers	4. 巻 -
2. 論文標題 Introduction - Mesoamerican Landscape, Monuments, and Rituals in Bio-Cultural Perspectives	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In N. Matsumoto, et al. (eds.) Landscape, monuments, arts, and rituals out of Eurasia in biocultural perspectives. Proceedings of an international conference in Mexico, February 27-28, 2020	6. 最初と最後の頁 157-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsurumi, E	4. 巻 -
2. 論文標題 Monuments, Art and Social Change in the Formative Andes: Case Study in Tembladera Region, Middle Jequetepeque Valley, Northern Peru	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 In N. Matsumoto, et al. (eds.) Landscape, monuments, arts, and rituals out of Eurasia in biocultural perspectives. Proceedings of an international conference in Mexico, February 27-28, 2020	6. 最初と最後の頁 35-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsurumi, E., K. Inokuchi, Y. Onuki, N. Martell, & Y. Matsumoto	4. 巻 95
2. 論文標題 Excavations at Piquimina, 2002	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 In Y. Matsumoto (ed.) Prehistoric Settlement Patterns in the Upper Huallaga Basin, Peru; Yale University Publications in Anthropology	6. 最初と最後の頁 169-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsurumi, E	4. 巻 94
2. 論文標題 Early settlement and cultural landscape in the Tembladera area of the middle Jequetepeque Valley	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Burger, R.et al.(eds.) New Perspectives on Early Peruvian Civilization: Interaction, Authority and Socioeconomic Organization during the 1st and 2nd Millennia B.C. YUPA	6. 最初と最後の頁 19-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤伸幸	4. 巻 4
2. 論文標題 チュルチュアパ遺跡出土の7バクトゥンの石碑片について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 名古屋大学人文学研究論	6. 最初と最後の頁 369-392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/jouhunu.4.369	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤明	4. 巻 76
2. 論文標題 春分・秋分は考古学的に意味ある概念か?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 貝塚	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹生衛	4. 巻 121(21)
2. 論文標題 『記紀』と大嘗祭 - 大嘗宮遺構から考える『記紀』と大嘗祭の関係 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 國學院雑誌 特集『日本書紀』研究の現在と未来	6. 最初と最後の頁 24-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57529/00000598	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 北條芳隆	4. 巻 -
2. 論文標題 先史社会と冬至の祭り	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 遺跡学研究的地平 - 吉留秀敏氏追悼論文集 -	6. 最初と最後の頁 431-440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北條芳隆	4. 巻 64(10)
2. 論文標題 松島王墓古墳と原東山道	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 伊那路	6. 最初と最後の頁 8-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本睦・J. P. Vargas・O. Arias・門叶冬樹	4. 巻 23
2. 論文標題 エクアドル南部山地の発掘調査 - セロ・ナリオ遺跡、ロマ・デ・ピンシュル遺跡、エル・ボスケ遺跡	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 古代アメリカ	6. 最初と最後の頁 79-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 笹生衛	4. 巻 245
2. 論文標題 大嘗祭の意味と起源 - 大嘗宮から考える祭祀の意味と神宮との関係 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 瑞垣	6. 最初と最後の頁 65-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹生衛	4. 巻 254・255
2. 論文標題 古代大嘗宮の構造と起源 - 祭式と考古学資料から考える祭祀の性格 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 神道宗教	6. 最初と最後の頁 87-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹生衛	4. 巻 120(11)
2. 論文標題 「中臣寿詞」の「天つ水」再考 - 「水の祭儀」論の再検討 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 國學院雑誌	6. 最初と最後の頁 20-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama, S. and N. Sugiyama	4. 巻 -
2. 論文標題 Interactions between Ancient Teotihuacan and the Maya World	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Maya World	6. 最初と最後の頁 689-711
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugiyama, N., W. L. Fash, B. Fash, and S. Sugiyama	4. 巻 -
2. 論文標題 The Maya at Teotihuacan? New Insight into Teotihuacan-Maya interactions from Plaza of the Columns Complex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Teotihuacan: the World beyond the City	6. 最初と最後の頁 139-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 杉山三郎	4. 巻 -
2. 論文標題 古代メソアメリカのモニュメント：象徴する世界観と王権	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本の古墳はなぜ巨大なのか - 古代モニュメントの比較考古学 -	6. 最初と最後の頁 70-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本睦、マリーナ・ラミーレス	4. 巻 22
2. 論文標題 ペルー北部インガタンボ遺跡 (第五次) とカニャリアコ遺跡の発掘調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 古代アメリカ	6. 最初と最後の頁 119-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計156件 (うち招待講演 24件 / うち国際学会 56件)

1. 発表者名 Ito, N.
2. 発表標題 Los Monumentos Lisos en Mesoamerica
3. 学会等名 XXXVI Simposio de Investigaciones Arqueologicas en Guatemala (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Lopez, L., S. Sugiyama
2. 発表標題 The Imperial Expansion of Tenochtitlan as Viewed from Archaeology: Religious Architecture, Monumental Sculpture, and Buried Offerings
3. 学会等名 The Creation of Royalty in 'Out of Eurasia' civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Matsumoto, G.
2. 発表標題 he political system of Lambayeque society as viewed from the spatial configuration of Sic?n Archaeological Complex
3. 学会等名 The Creation of Royalty in 'Out of Eurasia' civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sugiyama, S., L. Lopez
2. 発表標題 The Dynamism of Rulership Materialized at Teotihuacan and beyond
3. 学会等名 The Creation of Royalty in 'Out of Eurasia' civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Vargas, J.,A. Yamamoto, O. Arias
2. 発表標題 Dataciones Radiocarbonicas en el Valle del Canar: Cerro Narrio, Loma de Pinzhul y El Bosque
3. 学会等名 I Encuentro de Arqueologia en los Andes Septentrionales (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 浅見恵理, 西澤弘恵, 鶴見英成, 瀧上舞, 尾寄大真, 大森貴之, 米田穰
2. 発表標題 東京大学総合研究博物館所蔵染織品の調査概報 放射性炭素年代測定および炭素・窒素同位体比分析を中心に
3. 学会等名 第28回古代アメリカ学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊藤伸幸
2. 発表標題 チャルチュアバ遺跡のフラスコ状ピット出土種子
3. 学会等名 第28回古代アメリカ学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 後藤明
2. 発表標題 海岸を歩き、水隙を超える：出ユーラシア集団の海景観
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 後藤明
2. 発表標題 イントロダクション(2)：世界神話学から再考する超越者
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 後藤明・長岡拓也
2. 発表標題 空挺LiDARによるナンマトルおよびポーンベイ島の調査報告
3. 学会等名 日本オセアニア学会第41回研究大会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 景観形成と神・靈魂観 日本列島東部、3世紀～10世紀の事例分析からー
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 祭礼・神輿渡御の成立と展開 都市の神輿渡御祭礼の成立と地方での受容
3. 学会等名 神道宗教学会第77回学術大会学術シンポジウム『社会の復元力と神・まつり～古代・中世移行期と祭礼の発生・展開を軸に～』（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤優音，金崎由布子，鶴見英成
2. 発表標題 ペルー北部中央山地ワヌコ盆地における形成期後期から末期にかけての土器の変化
3. 学会等名 第28回古代アメリカ学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杉山三郎
2. 発表標題 メソアメリカの時空間認知と都市景観の創成メカニズム
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 関口和寛・北條芳隆、杉山三郎
2. 発表標題 出ユーラシアの天体認知と社会変容へのダイナミズム
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 鶴見英成
2. 発表標題 リヤマと神殿の誕生 アンデスの大地形に即した（未だ登頂ルートが見えない）文明形成論
3. 学会等名 公開シンポジウム『古代アンデスとリヤマ：文明形成をめぐる新視点』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 鶴見英成，北條芳隆
2. 発表標題 時空間の認知と人為景観化：アンデス形成期および日本列島の弥生・古墳時代において
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 野嶋洋子
2. 発表標題 ウレパラバラ島の儀礼空間とコミュニティ主体の?化遺産保護
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 古墳時代成立期の実像を求め続けて
3. 学会等名 第89回日本考古学協会総会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 北條芳隆・宮原俊一・白川美冬
2. 発表標題 造山古墳後円部の地中レーダー探査結果と今後の展開
3. 学会等名 シンポジウム『文理融合分析による造山古墳の総合的研究』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 稲作層と稲束からみた古墳時代の成立過程 - 景観史と経済史の視点から -
3. 学会等名 第41回島根考古学会総会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本剛
2. 発表標題 ペルー・ランバイエケ地方における サイクロン「ヤク」およびエルニーニョの 被害について
3. 学会等名 文化遺産国際協力コースアシム中南米分科会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松本剛、山本睦、大谷博則、G・ロス・リオス（他）
2. 発表標題 アンデスにおける 都市景観の創成メカニズム : シカン遺跡におけるLiDARおよび発掘調査から
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 光本順
2. 発表標題 佐良山古墳群におけるドローン測定の成果について
3. 学会等名 令和5年度第3回美作学講座（第40回津山市文化財調査報告会）（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 光本順、山口雄治、ライアン・ジョセフ
2. 発表標題 LiDARによる造山古墳墳丘調査
3. 学会等名 シンポジウム『文理融合分析による造山古墳の総合的研究』（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 光本順、ライアン・ジョセフ、清家章、山口雄治、久世宏明、本郷千春
2. 発表標題 UAVデータ解析による巨大前方後円墳の周濠探査
3. 学会等名 The 26th CEReS Environmental Remote Sensing Symposium
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 旅する<オロ神>の歴史人類学
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 モノを通じた「ダブル・ピジョン」の歴史人類学 - 慶應大所蔵のニューギニア民族資料を中心に -
3. 学会等名 海域アジア・オセアニア研究講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山口徹, 山野博哉
2. 発表標題 モート環礁プカプカの先史人間居住と熱帯サイクロン：ジオ考古学の試み
3. 学会等名 日本オセアニア学会第41回研究大会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 山本睦
2. 発表標題 リヤマと神殿社会の展開：ペルー北部における神殿の多様性
3. 学会等名 公開シンポジウム『古代アンデスとリヤマ：文明形成をめぐる新視点』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本睦、O・アリアス、大谷博則
2. 発表標題 ペルー北部インガタンボ遺跡とトゥルコ遺跡の発掘調査
3. 学会等名 第28回古代アメリカ学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本睦、大谷博則
2. 発表標題 ペルー北部熱帯低地におけるモニュメントの生成 インガタンボ遺跡とトゥルコ遺跡の発掘調査
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第10回全体会議（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 吉田晃章，喜多理王，鶴見英成，真世土マウ，粟野若枝(他)
2. 発表標題 笛吹きボトル土器の音響解析 模型を用いた実験成果の概要
3. 学会等名 第28回古代アメリカ学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Clasby R., A. Yamamoto
2. 発表標題 El Horizonte corrugado y las migraciones Pre-Colombinas tardías en la Amazonia Superior
3. 学会等名 Ultimos avances en la arqueologia y etnohistoria de la alta Amazonia: un enfoque regional. V Encuentro Internacional de Arqueologia Amazonica (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Clasby R., A. Yamamoto
2. 発表標題 Migration, Empire, and Cultural Disruption in the Ceja de Selva of Northern Peru
3. 学会等名 87th Annual Meeting, Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 De Anda Rogel, M., S. Sugiyama, L. Lopez
2. 発表標題 Hands (and Hearts) on the Job: New Models for the Urban Reconstruction of Tenochtitlan
3. 学会等名 Tenochtitlan: Imperial Ideologies on Display. Dumbarton Oaks (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ito, N.
2. 発表標題 Los monumentos lisos en el paisaje urbano de Chalchuapa
3. 学会等名 XXXV Simposio de Investigaciones Arqueologicas en Guatemala (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ito, N.
2. 発表標題 Intercambio cultural entre el Golfo de Mexico y Centroamerica
3. 学会等名 Cumbre Olmeca, Secretario de Turismo y Cultura del Estado de Veracruz, Coatzacoalcos, Mexico (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Matsumoto, G.
2 . 発表標題 Research on the religion and ritual in the complex societies in the ancient Andes
3 . 学会等名 The 4th Chile-Japan Academic Forum: Archaeology Online Session (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Matsumoto, G.
2 . 発表標題 La organizacion sociopolitica de la sociedad del periodo Sican Medio: Centralizada o descentralizada?
3 . 学会等名 Los Sabados Arqueologicos (Museo Nacional de Sican, Ferrenafe) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Mitsumoto, J
2 . 発表標題 Weaving history with LiDAR survey: Research on the fifth-century Tsukuriyama mounded tomb group in Japan
3 . 学会等名 UC Berkeley Archaeological Research Facility Brownbag
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Mitsumoto, J., J. Ryan
2 . 発表標題 LiDAR archaeology: A revolutionary approach
3 . 学会等名 2022 BeArchaeo Second Summer School, Okayama University (招待講演)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Nojima, Y., T. Yamaguchi
2. 発表標題 Symposium on Monument Studies of the Pacific: ethnoarchaeological approaches to ritual
3. 学会等名 Trekking shores, crossing water gaps, and beyond: Maritime aspects in the dynamics of "Out of Eurasia" civilizations (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sekiguchi, K
2. 発表標題 Development of archaeoastronomical simulation software "arcAstro-VR"
3. 学会等名 NAOJ Seminar
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sekiguchi, K
2. 発表標題 "arcAstro-VR" for Archaeoastronomy
3. 学会等名 "12th Southeast Asia Astronomy Network Meeting", Archaeoastronomy in the Modern Era (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sekiguchi, K
2. 発表標題 arcAstro-VR for archaeoastronomy
3. 学会等名 Trekking shores, crossing water gaps, and beyond: Maritime aspects in the dynamics of "Out of Eurasia" civilizations (国際学会)
4. 発表年 2023年

1 . 発表者名 Sugiyama, S.
2 . 発表標題 El Gobierno Teotihuacano Interactuando con los Elites Mayas: Una Vista desde las Entranas de la Ciudad de Teotihuaca
3 . 学会等名 4o Simposio internacional sobre los antiguos mayas en JapOn: Teotihuacan y Maya (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Sugiyama, S., L. Lopez
2 . 発表標題 The Dynamism of Rulership Materialized at Teotihuacan and beyond
3 . 学会等名 The Creation of Royalty in ‘Out of Eurasia’ civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Sugiyama, S., N. Sugiyama, K. Sekiguchi, K. Iwashiro
2 . 発表標題 A New Approach for the Cognition of Time, Space, and Rulership in the Cosmic City of Teotihuacan
3 . 学会等名 87th Annual Meetings of the Society for American Archaeology (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Tsurumi E., J. Nesbitt, Y. Matsumoto
2 . 発表標題 Reappraising the Chronology of the Initial Period (ca. 1700-800 BC) in the Central Andes
3 . 学会等名 87th Annual Meeting of the Society for American Archaeology (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamaguchi, T.
2. 発表標題 Ethnoarchaeology of ritual landscape in Tongareva Atoll, the northern Cook Islands
3. 学会等名 The Out of Eurasia, Hawai'i Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yamamoto, A., R. Clasby
2. 発表標題 Centering the Ceja de Selva: Reexamining the Idea of the Eastern Andes as a Cultural Frontier
3. 学会等名 87th Annual Meeting, Society for American Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊藤伸幸
2. 発表標題 チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区 2022 年夏の調査
3. 学会等名 古代アメリカ学会第27回研究大会・総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河合洋尚、松本雄一、山本睦
2. 発表標題 景観考古学・人類学研究会に関する活動報告
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第8回全体会議
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 日本列島における祭祀の場のモニユメント化と神観の変化
3. 学会等名 日本考古学協会第88回総会・研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉山三郎、N・ロブレス他
2. 発表標題 モンテ・アルバン - アツオンバ遺跡の LiDAR 図構築へ向けて
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第8回全体会議
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 関口和寛、岩城邦典、北條芳隆
2. 発表標題 arcAstro-VR開発報告
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第8回全体会議
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 関口和寛、後藤明、北條芳隆、岩城邦典
2. 発表標題 祭祀関連遺跡と過去の天体景観
3. 学会等名 日本考古学協会第88回総会・研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鶴見英成
2. 発表標題 景観分析の視点からアンデス文明のモニュメント建築の成立と変遷を考える
3. 学会等名 日本考古学協会第88回総会・研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 吉野ヶ里遺跡南北両内郭の評価をめぐって
3. 学会等名 第6回考古天文学会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 平原から纏向へ
3. 学会等名 シンポジウム, 考古天文学からみた大和の景観, 奈良女子大学けいはんな公開講座 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本剛
2. 発表標題 シカンの政治体制とその変遷
3. 学会等名 国際研究シンポジウム「古代アメリカ文明における政治体制とその変遷：マヤとアンデスの比較」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本剛, G・ロス・リオス他
2. 発表標題 調査報告: PIACL2022
3. 学会等名 古代アメリカ学会第27回研究大会・総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本剛
2. 発表標題 ペルー北海岸に栄えたランバイエケ文化の考古学的研究: 「これまで」と「これから」
3. 学会等名 第23回山形大学歴史・地理・人類学研究会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 光本順、山口雄治、ライアン・ジョセフ
2. 発表標題 岡山県の古墳を対象とするドローンを用いたLiDAR測量
3. 学会等名 第40回レーザセンシングシンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 景観の民族考古学 - 経験されたトンガレヴァ環礁のマラエ (祭祀遺跡) -
3. 学会等名 日本オセアニア学会第40回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 歴史生態学と解釈考古学の節合 - オセアニアの環礁景観を事例に -
3. 学会等名 日本考古学協会第88回総会・研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本睦、大谷博則、O・アリアス、G・ビジェガス、K・エスピルトゥ、鶴見英成
2. 発表標題 ペルー北部ハエン地方におけるLiDAR測量
3. 学会等名 古代アメリカ学会第27回研究大会・総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本睦、大谷博則、鶴見英成
2. 発表標題 ペルー北部熱帯低地における踏査と測量 LiDAR、UAV、GNSS
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第8回全体会議
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 吉田晃章、鶴見英成、真世土マウ、喜多理王、粟野若枝
2. 発表標題 X線CTによる笛吹きボトル土器の構造の分析
3. 学会等名 古代アメリカ学会第27回研究大会・総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Aiba, N. and N. Ito
2. 発表標題 Las figurillas encontradas en El Trapiche, Chalchuapa
3. 学会等名 XXXIV Simposio de Investigaciones Arqueologicas en Guatemala. (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Diaz, L., O. Arias and A. Yamamoto
2. 発表標題 Presentacion de publicacion. Paisaje y territorio en los Andes Centrales: Practicas sociales y dinamicas regionales
3. 学会等名 VIII Congreso Nacional de Arqueologia (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ito, N., S. Kitamura and N. Aiba
2. 発表標題 Reaccion de la sociedad prehispanica ante la erupcion volcanica gigante en Chalchuapa, El Salvador.
3. 学会等名 XIII Congreso Centroamericano de Antropologia. (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Matsumoto, G., G. De Los Rios and G. Villegas
2. 発表標題 The Mochicas under the Lambayeque rule.
3. 学会等名 86th Annual Meeting, Society for American Archaeology. (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nieves, J., G. Matsumoto, G. De Los Rios
2. 発表標題 Los Metales de la Gran Plaza: Analisis e interpretacion preliminar de los objetos recuperados en el marco del PIA Complejo Lambayeque.
3. 学会等名 VIII Congreso Nacional de Arqueologia. (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sugiyama, S
2. 発表標題 El Gobierno Teotihuacano Interactuando con los Elites Mayas: Una Vista desde las Entranas de la Ciudad de Teotihuacan.
3. 学会等名 4 Simposio internacional sobre los antiguos mayas en Japon: Teotihuacan y Maya. (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamamoto, A, J. P. Vargas and O. Arias
2. 発表標題 Investigations in the Valley of Canar, Ecuador: Preliminary Results at Cerro Narrio and Loma de Pinshul.
3. 学会等名 86th Annual Meeting, Society for American Archaeology. (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 相場伸彦・伊藤伸幸
2. 発表標題 チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区出土の土偶.
3. 学会等名 古代アメリカ学会第26回研究大会・総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤伸幸・北村繁
2. 発表標題 エル・トラピチェにおける都市空間の起源.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊藤伸幸
2. 発表標題 海によってつながる世界.
3. 学会等名 令和3年度 文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「海と文化遺産 - 海が繋ぐヒトとモノ - 」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 後藤明
2. 発表標題 オセアニアにおけるアウトリガーカヌーの形態分析.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 後藤明
2. 発表標題 南太平洋における人類学と天文学の融合.
3. 学会等名 日本天文教育普及研究会年会・第35回天文教育研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 水陸交通の結節点 琵琶湖塩津港遺跡と神社、 港湾における古代祭祀と中世への変質
3. 学会等名 ,古代交通研究会第21回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 笹生衛・木村大樹・高橋あかね
2. 発表標題 日本列島における古代景観の変化と神々の変貌 10世紀の災害との関係を中心に
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 白鳥祐子・伊藤伸幸
2. 発表標題 エルサルバドル西部出土の銅鈴と土製パイプの起源に関する予察
3. 学会等名 古代アメリカ学会第26回研究大会・総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉山三郎
2. 発表標題 メソアメリカの(戦士)生贖儀礼
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議セッション4「儀礼センター・モニュメントとコンフリクト」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 関口和寛・岩城邦典
2. 発表標題 考古学向け天体シミュレーションソフト arcAstro-VR の開発.
3. 学会等名 第4回考古天文学会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 関口和寛
2. 発表標題 考古学遺構と天体現象を視覚化するソフトウェアarcAstro-VR の開発.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鶴見英成・大谷博則・松本剛・渡部森哉・山本睦
2. 発表標題 航空古写真による地形と遺構の復元：ペルー北部ヘケテペケ川流域を中心に.
3. 学会等名 古代アメリカ学会第26回研究大会・総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鶴見英成・大谷博則
2. 発表標題 ペルー北部ヘケテペケ川中流域の景観考古学研究の論点.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新納泉・光本順
2. 発表標題 3D技術の発達と文化財の保護.
3. 学会等名 日本文化財科学会第38回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野嶋洋子
2. 発表標題 バヌアツにおけるモニュメント景観:北部および中部の儀礼的空間事例.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 腕輪形石製品の誕生.
3. 学会等名 フォーラム古墳時代の碧玉. 石川県小松市埋蔵文化財センター(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 吉野ヶ里遺跡と北限の満月.
3. 学会等名 第4回考古天文学会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 岡山市造山古墳の軸線決定に関する試案.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本剛
2. 発表標題 モニュメントと暴力.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議セッション4「儀礼センター・モニュメントとコンフリクト」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本剛・ガブリエラ デ ロス リオス・ガブリエル ビジェガス
2. 発表標題 土器の儀礼的殺害 シカン遺跡大広場における饗宴跡から .
3. 学会等名 古代アメリカ学会第26回研究大会・総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 光本順・ライアン ジョセフ・山口雄治
2. 発表標題 岡山市造山古墳群のLiDAR測量.
3. 学会等名 考古学研究会第67回総会・研究集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 光本順・ライアン ジョセフ・山口雄治・清家章
2. 発表標題 岡山県内の古墳のUAV-LiDAR測量に関する成果と展望.
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 光本順・ライアン ジョセフ・山口雄治
2. 発表標題 岡山県津山市佐良山古墳群内におけるUAV-LiDAR測量.
3. 学会等名 日本情報考古学会第46回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 民族資料にみるカウンター・エスノグラフィとエイジェンシーの活用方法.
3. 学会等名 慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター2021年度末公開成果報告
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口徹・深山直子
2. 発表標題 環礁社会の天水田からみる熱帯サイクロン災害誌 - 北部クック諸島プカプカ環礁の事例.
3. 学会等名 第39回日本オセアニア学会研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 島景観の景観考古学 東ポリネシア・トンガレヴァ環礁の祭祀遺跡（マラエ）を読む .
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本睦・鶴見英成
2. 発表標題 ペルー北部におけるリャマの重要性とその社会的位置づけ.
3. 学会等名 古代アメリカ学会第26回研究大会・総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本睦
2. 発表標題 ペルー北部の形成期社会にラクダがもたらしたもの 形成期中期から後期の社会変化とラクダの社会的位置づけ .
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第6回全体会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Goto, A.
2. 発表標題 Indigenous calendar of Oceanic seafarers
3. 学会等名 “Symposium on Calendars used in Asia (West-, South-, Southeast-, East-) and Oceania” : Nanzan University, Anthropological Institute “The Integration of Astronomy and Anthropology Symposium” No.4 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Hojo, Y.
2 . 発表標題 A primitive calendar used by prehistoric farmers in Japan
3 . 学会等名 “ Symposium on Calendars used in Asia (West-, South-, Southeast-, East-) and Oceania ” : Nanzan University, Anthropological Institute “ The Integration of Astronomy and Anthropology Symposium ” No.4 (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Flores Manzano,C., N. Ito, M. Fukaya and N. Aiba
2 . 発表標題 Analysis of Ritual Contexts and Excavation Planning Through GPR (Ground Penetrating Radar) at El Trapiche Preclassic Period Site, El Salvador
3 . 学会等名 The 26th Annual Meeting of the European Association of Archaeologists (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Matsumoto,G., G. De Los Rios, F. Tokanai, J. Rivera, M. Noguchi and G. Villegas
2 . 発表標題 Una nueva vision de la gran plaza como escenario animado por diversas actividades rituals
3 . 学会等名 VII Congreso Nacional de Arqueologia (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yamaguchi, T.
2 . 発表標題 Archaeology for 'isandscape' histories of coral atolls in the remote Oceania
3 . 学会等名 Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future, Royal Anthropology Institute (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Yamamoto, A, and J. Olano.
2. 発表標題 Ventilla: Ceremonial Center in the Ingenio Valley. Nasca
3. 学会等名 Virtual Symposium, Yamagata University, University of Texas and Northern Arizona University (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 相場伸彦・伊藤伸幸
2. 発表標題 チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区出土の土偶
3. 学会等名 古代アメリカ学会第25回 研究大会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 メシーカ社会における人身犠牲 ドウランの記録を中心に
3. 学会等名 古代アメリカ学会第25回 研究大会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上幸孝
2. 発表標題 メキシコを征服したのはだれか？ アステカ王国の終焉から500周年を迎えて
3. 学会等名 在日メキシコ大使館Web 特別講演会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 後藤明
2. 発表標題 島嶼世界の埋葬法と他界観：民族誌情報のテキスト・マイニング的分析の試み
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第4回全体会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 祖先祭祀と墓域の景観、その歴史的な意味 - 千葉県市原市、姉崎古墳群と姉崎神社の事例から -
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第4回全体会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 祭祀・古墳・埴輪 - 祭祀の視点から考える死者と古墳の関係 -
3. 学会等名 和歌山県立紀伊風土記の丘令和2年度企画展「埴輪が語る古墳の祀り」特別関連シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 杉山三郎・杉山奈和
2. 発表標題 パリンプセスト・ランドスケープとしてのテオティワカン2000年史
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第4回全体会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉山三郎・杉山奈和
2. 発表標題 テオティワカンとマヤの相互交流、「石柱の広場」発掘成果として
3. 学会等名 古代アメリカ学会第25回 研究大会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 関口和寛・岩城邦典・高田裕行
2. 発表標題 天文考古学シミュレーションソフトウェアの開発
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第4回全体会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鶴見英成
2. 発表標題 アンデス形成期の神殿建築の立地と建築形態
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第4回全体会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野嶋洋子
2. 発表標題 オセアニア島嶼地域における社会複雑化の諸相
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第3回全体会議：人類史構築のための比較研究
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 周縁国家概念の提唱
3. 学会等名 シンポジウム社会進化の比較考古学
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 前方後円墳の祭祀と火山活動
3. 学会等名 「出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明-」第4回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本剛
2. 発表標題 儀礼実践の通時的観察によって明らかになる祖先の記憶の変化
3. 学会等名 古代アメリカ学会 第10回西日本 / 第12回東日本部会合同研究懇談会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本剛
2. 発表標題 チチャ醸造再考 ~考古学者たちはどのように酒造りを論じてきたか
3. 学会等名 古代アメリカ学会第25回 研究大会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 光本順
2. 発表標題 物質のネットワークと古墳づくり
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究「感性と制度のつながり 芸術をめぐる『喚起』と『評価』のプロセスから考える 」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 光本順
2. 発表標題 古墳のLiDAR測量.
3. 学会等名 エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所第3回文理融合シンポジウム「量子ビームで歴史を探る 加速器が紡ぐ文理融合の地平 」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 光本順・ライアン ジョセフ・ 山口雄治
2. 発表標題 巨大古墳のUAV-LiDAR測量とその展望
3. 学会等名 「 出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明- 」第4回全体会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 熱帯サイクロンが引き起こすオセアニア環礁景観の動態性 プカプカ環礁を事例にマルチ・スカラーな気象災害誌を目指す
3. 学会等名 「 出ユーラシアの統合的人類史学-文明創出メカニズムの解明- 」第4回全体会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山口徹
2. 発表標題 北部クック諸島プカプカ環礁の初期居住期を再考する
3. 学会等名 第38回オセアニア学会研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本睦・Juan Pablo Vargas・Oscar Arias
2. 発表標題 ペルー北部とエクアドル南部における形成期の編年と地域間交流
3. 学会等名 古代アメリカ学会第25回 研究大会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Acuna, L., E. Tsurumi, C. Sara and Y. Kanazaki
2. 発表標題 El Proyecto de Investigacion Arqueologica Kotosh 2018. Excavacion
3. 学会等名 VI Congreso Nacional de Arqueologia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 後藤明
2. 発表標題 オセアニアにおけるモニュメントと社会複合化
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北條芳隆
2. 発表標題 三内丸山遺跡と北限の月
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Inoue, Y.
2. 発表標題 Codices and Indigenous Chronicles: Mesoamerican Historical Sources
3. 学会等名 Out of Eurasia, International Academic Meetings in Mexico (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 片岡修、長岡拓也、後藤明、野嶋洋子
2. 発表標題 巨石複合遺跡の形成と発展に関する考古学研究: ポーンベイ島の先史時代における首長制社会の理解に向けて
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mitsumoto, J.
2. 発表標題 Towards LiDAR mapping on Tsukuriyama Kofun Group: the research history of threedimensional measurements and perspectives
3. 学会等名 Out of Eurasia, International Academic Meetings in Mexico (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 光本順、清家章、山口雄治
2. 発表標題 岡山市造山古墳群の三次元計測に関する学史と展望
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野嶋洋子
2. 発表標題 島嶼メラネシアにおける人工的環境の構築:パヌアツ北部におけるモニュメント事例
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 古代日本の神観と祭祀遺跡・自然環境
3. 学会等名 第13 回アジア考古四学会合同講演会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 古代日本における祭祀の実態と神観 日本列島の自然環境と東アジアとの関係から
3. 学会等名 第2回国際検討会「古代東アジアにおける地域間交流と信仰・祭祀」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 笹生衛
2. 発表標題 遺体と葬送・墳墓・祭祀に関するデータベース作成
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 関口和寛、高田裕行
2. 発表標題 考古学および天体データの可視化
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sugiyama, S
2. 発表標題 Monuments, Elite Burials, Arts, and Rituals as Social Memories in Comparative Contexts
3. 学会等名 Out of Eurasia, International Academic Meetings in Mexico (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 杉山三郎
2. 発表標題 メソアメリカのモニュメント/エリート埋葬墓と階層社会の形成：研究の展望と目的
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sugiyama, S
2. 発表標題 Ultimas Perspectivas de la Antigua Ciudad de Teotihuacan y el Proyecto Complejo Plaza de las Columnas.
3. 学会等名 - (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsurumi, E.
2. 発表標題 Domestication, monument, pottery and growing social complexity of the Andean Civilization
3. 学会等名 Out of Eurasia, International Academic Meetings in Mexico (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鶴見英成、山本睦、松本雄一、渡部森哉
2. 発表標題 アンデス文明におけるドメスティケーション, モニュメント, 土器, 社会複合化
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tsurumi, E. and C. Morales
2. 発表標題 Tembladera: investigaciones en sitios tempranos en el valle medio del Jequetepeque
3. 学会等名 VI Congreso Nacional de Arqueologia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsurumi, E., R. Cholan and C. Morales
2. 発表標題 Investigaciones en el valle medio del Jequetepeque: Las Huacas, Mosquito y Lechuzas
3. 学会等名 “Entre el pasado y el presente: Estudios y proteccion del patrimonio cultural en la costa y sierra norte del Peru” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本睦
2. 発表標題 ペルー最北部におけるモニュメントの形成と社会複合化: インガタンボ遺跡の発掘調査を中心に
3. 学会等名 出ユーラシア第二回全体会議
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本睦、ファン・パブロ・バルガス、オスカル・アリアス
2. 発表標題 エクアドル、セロ・ナリオ遺跡とロマ・デ・ピンシュル遺跡の発掘
3. 学会等名 第24回古代アメリカ学会研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto, A
2. 発表標題 Complejidad sociopolitica en el norte del Peru durante el periodo formativo (3000-1 a.C.)
3. 学会等名 -(招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto, A
2. 発表標題 Proyecto arqueologico Ingatambo: Trayectoria y relacion con las comunidades
3. 学会等名 “Entre el pasado y el presente: Estudios y proteccion del patrimonio cultural en la costa y sierra norte del Peru” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto, A
2. 発表標題 Ingatambo: Frontera norte del Periodo Formativo y su potencial para el desarrollo social
3. 学会等名 VI Congreso Nacional de Arqueologia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計60件

1. 著者名 Goto, A., N. Matsumoto (eds.)	4. 発行年 2024年
2. 出版社 Research Institute for the Dynamics of Civilizations, Okayama University	5. 総ページ数 242
3. 書名 Trekking shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of “Out of Eurasia” Civilizations	

1. 著者名 Sugiyama, S., N. Robles, P. Sanchez	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Report submitted to the Archivo Tecnico del INAH	5. 総ページ数 108
3. 書名 Proyecto Ciudades Cosmicas Mesoamericanas en 3D: Informe de la Segunda Fase de Estudios Comparativos en 2022: Cholula, Teotihuacan y Oaxaca	

1. 著者名 Sugiyama, N., S. Sugiyama, L. Rivero	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Report submitted to the Archivo Tecnico del INAH	5. 総ページ数 648
3. 書名 Proyecto Complejo Plaza de las Columnas, Teotihuacan: Informe Parcial de la Sexta Temporada	

1. 著者名 Lopez, L., S. Sugiyama, et al.	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Report submitted to the Archivo Tecnico del INAH	5. 総ページ数 1304
3. 書名 Proyecto Templo Mayor: Informe de la novena temporada (fase 2022-2023) del Proyecto Templo Mayor	

1. 著者名 Lopez, L., S. Sugiyama, R. De Anda	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Edizioni Quasar	5. 総ページ数 440
3. 書名 Archeologia della sostituzione urbana in un mondo globalizzato: le capitali dell'Impero Mexica, della Nuova Spagna e della Repubblica Messicana. in Migliorati, L., et al.(eds.) "Integracion del patrimonio edificado en ciudades con continuidad de vida en America y Europa Integrazione dell'edificato storico in citta a continuita di vita in America ed Europa", pp.69-80	

1. 著者名 河合洋尚、松本雄一、山本睦（編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 275
3. 書名 景観で考える：人類学と考古学からのアプローチ	

1. 著者名 後藤明	4. 発行年 2024年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 306
3. 書名 「太平洋世界の考古学」中野聡・安村直巳（編）『岩波講座・世界歴史 第19巻（太平洋海域世界～20世紀）』pp.71-92	

1. 著者名 後藤明	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 306
3. 書名 「太平洋世界の考古学」中野聡・安村直巳（編）『岩波講座・世界歴史第19巻（太平洋海域世界～20世紀）』pp.71-92	

1. 著者名 佐々木虔一, 笹生衛, 菊地照夫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 八木書店	5. 総ページ数 552
3. 書名 古代の交通と神々の景観 港・坂・道	

1. 著者名 笹生衛	4. 発行年 2024年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 276
3. 書名 「宗像・沖ノ島における古代祭祀の意味と中世の変容」佐藤信・溝口孝司編『世界遺産 宗像・沖ノ島 みえてきた「神宿る島」の実像』pp.162-197	

1. 著者名 杉山三郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 朝日選書	5. 総ページ数 216
3. 書名 メキシコ古代都市の謎 テオティワカンを掘る	

1. 著者名 杉山三郎、猪俣健、レオナルド・ロペス（監修）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 NHK：NHKプロモーション：朝日新聞社	5. 総ページ数 215
3. 書名 特別展「古代メキシコ - マヤ、アステカ、テオティワカン」展覧会図録	

1. 著者名 光本順	4. 発行年 2024年
2. 出版社 津山市	5. 総ページ数 814
3. 書名 「陶棺」津山市史編さん室編 『新修津山市史 通史編「自然風土・原始・古代」』 pp.327-345	

1. 著者名 Sugiyama, S., N. Robles, P. Sanchez	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Report submitted to the Archivo Tecnico del INAH	5. 総ページ数 189
3. 書名 Proyecto Ciudades Cosmicas Mesoamericanas en 3D: Informe de la Primera Fase de Estudios Comparativos en 2021: Atzompa, Monte Alban y Teotihuacan	

1. 著者名 Shimada, I., H. Klaus, R. Segura, G. Matsumoto	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Museo de Arqueologia, Antropologia e Historia, UNT	5. 総ページ数 598
3. 書名 Viviendo con los muertos: Concepcion y tratamiento de los muertos en la costa peruana. In E. Vergara(ed.) "Arqueologia y vida, Peruanistas del Siglo XX, No.2: Izumi Shimada" p.511-569	

1. 著者名 後藤明	4. 発行年 2022年
2. 出版社 南山大学人類学研究所	5. 総ページ数 169
3. 書名 環太平洋の原初舟：出ユーラシア人類史学への序章（南山大学人類学研究所モノグラフ1）	

1. 著者名 後藤明	4. 発行年 2023年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 352
3. 書名 「海洋：漁撈、交易、航海術」「コラム 天文：海のナビゲーション、天文学、暦」石森大知・黒崎岳大編『ようこそオセアニア世界へ』pp.75-92 / p.93	

1. 著者名 後藤明	4. 発行年 2022年
2. 出版社 笠間書店	5. 総ページ数 387
3. 書名 「人類最古の天文学と天文神話」南聡一郎・丸山顕誠（編）『神話研究の最先端』pp. 148-166	

1. 著者名 後藤明	4. 発行年 2022年
2. 出版社 海洋出版	5. 総ページ数 368
3. 書名 「人類とサンゴ：オセアニアを中心に」 / 「アンソロポリウム：その目すもの」 『号外海洋64号：サンゴ礁科学研究 多分野異文化融合の拠点へー』 pp.175-181 / pp.214-218	

1. 著者名 笹生衛	4. 発行年 2023年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 272
3. 書名 まつりと神々の古代	

1. 著者名 杉山三郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 526
3. 書名 「メソアメリカ古代文明の超克：新大陸に生れた生存戦略」 稲村哲也他編 『レジリエンス人類史』 pp.159-172	

1. 著者名 野嶋洋子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 352
3. 書名 「コラム テウマ遺跡 ラピタ人の埋葬と装飾土器」 / 「コラム 食文化 オセアニアのモチ料理」 石森大知・黒崎岳大編 『ようこそオセアニア世界へ』 pp.34-35 / pp.55-56	

1. 著者名 山口徹	4. 発行年 2023年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 352
3. 書名 「島嶼：島景観にみる自然と人間の営み」 / 「コラム 探検航海：18世紀の絵画にみる西洋との接触」石森大知・黒崎岳大編『ようこそオセアニア世界へ』 pp.57-71 / pp.72-73	

1. 著者名 Diaz, L., O. Arias and A. Yamamoto (eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Fondo Editorial de la Universidad Nacional Mayor de San Marcos	5. 総ページ数 277
3. 書名 Paisaje y Territorio en los Andes Centrales: Practicas sociales y dinamicas regionals	

1. 著者名 Sugiyama, S	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Cambridge University	5. 総ページ数 350
3. 書名 Chapter 8: the Nature of Early Urbanism at Teotihuacan. In M. Love and J. Guernsey (eds.), Early Mesoamerican Cities: New Perspectives on Urbanism and Urbanization in the Formative Period . pp.170-198.	

1. 著者名 Sugiyama, S. and N. Sugiyama	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Wiley Blackwell	5. 総ページ数 432
3. 書名 Monumental Cityscape and Polity at Teotihuacan. In J. Hendon, L. Overholtzer, and R. Joyce (eds.), Mesoamerican Archaeology: Theory and Practice (Second Edition) . pp. 98-128.	

1. 著者名 Yamamoto, A.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 University Press of Florida	5. 総ページ数 312
3. 書名 The Emergence of Social Complexity in Northern Peru: A Diachronic Perspective from the Huancabamba Valley. In R. Clasby and J. Nesbitt (eds.), The Archaeology of the Upper Amazon: Complexity and Interaction in the Andean Tropical Forest . pp.83-105.	

1. 著者名 Yamamoto, A.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Fondo Editorial de la Universidad Nacional Mayor de San Marcos	5. 総ページ数 277
3. 書名 La transición del paisaje en el valle de Huancabamba durante el Periodo Formativo (3000-1 a.C.). In Diaz, L., O. Arias and A. Yamamoto (eds.) Paisaje y Territorio en los Andes Centrales: Practicas sociales y dinamicas regionals. pp.71-91.	

1. 著者名 井上幸孝	4. 発行年 2022年
2. 出版社 専修大学社会科学研究所	5. 総ページ数 406
3. 書名 「アステカ社会における歴史・神話の表象 絵文書・石彫モニュメント・神殿ピラミッド」土屋昌明編 『異文化社会の理解と表象研究』pp. 71-114.	

1. 著者名 後藤明監修・大西秀之編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 392
3. 書名 『モノ・コト・コトバの人類史：総合人類学の探求』	

1. 著者名 笹生衛	4. 発行年 2021年
2. 出版社 群馬県渋川土木事務所・公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	5. 総ページ数 506
3. 書名 「金井下新田遺跡における祭祀関連遺構の性格と歴史的な意義 遺構・遺物・文献史料から推定する古代の神・祖霊観と祭祀の実態」『金井下新田遺跡 古墳時代以降編 (国)353号金井バイパス(上信自動車道)道路改築事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書 分析・論考編』, pp. 359-374.	

1. 著者名 笹生衛	4. 発行年 2022年
2. 出版社 西日本出版	5. 総ページ数 279
3. 書名 「第2章6 古代・中世の漁撈と沿岸環境」秋道智彌, 角南篤編著『海とヒトの関係学 コモンズとしての海』, pp.118-135.	

1. 著者名 関雄二監修・山本睦・松本雄一編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 『アンデス考古学ハンドブック』	

1. 著者名 鶴見英成	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 「神殿を建て続けた人びと」関雄二監修・山本睦・松本雄一編『アンデス考古学ハンドブック』 pp.46-63.	

1. 著者名 野嶋洋子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 392
3. 書名 「メラネシアの社会複雑化と儀礼空間ーバヌアツを事例とするモニュメント論再考ー」. 後藤明監修, 大西秀之編 『モノ・コト・コトバの人類史：総合人類学の探求』 pp.25-39.	

1. 著者名 北條芳隆	4. 発行年 2021年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 152
3. 書名 「都市と国家をどう捉えるか」北條芳隆・小茄子川歩・有松唯編 『社会進化の比較考古学?都市・権力・国家? (季刊考古学・別冊35)』 pp. 11-18.	

1. 著者名 北條芳隆	4. 発行年 2021年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 152
3. 書名 「周縁国家概念の提唱」北條芳隆・小茄子川歩・有松唯編 『社会進化の比較考古学 都市・権力・国家 (季刊考古学・別冊35)』 pp. 85-101.	

1. 著者名 北條芳隆	4. 発行年 2022年
2. 出版社 KADOKAWA	5. 総ページ数 232
3. 書名 「高千穂峰と前方後円墳の祭祀」 上野誠, 大館真晴編 『神話の源流をたどる』 pp.131-161.	

1. 著者名 松本剛.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 「北海岸に花開いた多民族国家 ランバイエケ」. 関雄二監修・山本睦・松本雄一編 『アンデス考古学ハンドブック』, pp. 249-265.	

1. 著者名 松本雄一・山本睦	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 「序章 アンデス文明研究とその背景」 関雄二監修・山本睦・松本雄一編 『アンデス考古学ハンドブック』 pp. 7-20.	

1. 著者名 松本雄一・山本睦	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 「周囲の神殿ではなにがおきていたか 文明の形成を端から眺める。」 関雄二監修・山本睦・松本雄一編 『アンデス考古学ハンドブック』 pp. 151-168..	

1. 著者名 松本雄一・山本睦	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 「序 国家、帝国、狭間の社会」 関雄二監修・山本睦・松本雄一編 『アンデス考古学ハンドブック』 pp. 174-179.	

1. 著者名 山本睦・松本雄一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 「序 形成期という時代、神殿更新論という視座」 関雄二監修・山本睦・松本雄一編 『アンデス考古学ハンドブック』 pp. 22-31.	

1. 著者名 山本睦・松本雄一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 「序 考古学は過去だけを対象とするのではない」 関雄二監修・山本睦・松本雄一編 『アンデス考古学ハンドブック』 pp. 308-311.	

1. 著者名 Goto, A.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 148
3. 書名 Cultural Astronomy of the Japanese Archipelago: Exploring the Japanese Skyscape.	

1. 著者名 Sugiyama, N., W. L. Fash, B. Fash, & S. Sugiyama	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Dumbarton Oaks Research Library and Collection	5. 総ページ数 -
3. 書名 The Maya at Teotihuacan? New insights into Teotihuacan-Maya interactions from Plaza of the Columns Complex. In K. Hirth, D. Carballo, and B. Arroyo (eds.), Teotihuacan: The world beyond the city. pp.139-172.	

1. 著者名 Sugiyama, N., S. Sugiyama, V. Ortega, & W. L. Fash	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archivo Tecnico del INAH	5. 総ページ数 -
3. 書名 Proyecto Complejo Plaza de las Columnas, Teotihuacan: Informe parcial de la Cuarta Temporada (2019)	

1. 著者名 Sugiyama, S. and N. Sugiyama	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 888
3. 書名 Interactions between Ancient Teotihuacan and the Maya World. In Hutson, S. & Ardren, T. (eds.) The Maya World, pp. 689-711.	

1. 著者名 伊藤伸幸(監著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 530
3. 書名 『メソアメリカ文明ゼミナル』	

1. 著者名 伊藤伸幸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 530
3. 書名 「狩猟採集社会から定住社会へ」伊藤伸幸(監著) 『メソアメリカ文明ゼミナル』 pp. 33-48.	

1. 著者名 伊藤伸幸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 741
3. 書名 「古代アメリカの都市と文明」ラテンアメリカ文化事典編集委員会（編）『ラテンアメリカ文化事典』 pp.44-45.	

1. 著者名 井上幸孝	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 530
3. 書名 「アステカ文化」「歴史学」「貢納台帳」「テンプロ・マヨール」「市場（ティアングス）」「カカオ」 伊藤伸幸(監著)『メソアメリカ文明ゼミナル』 pp.154-179, pp.391-402, pp.485-488.	

1. 著者名 笹生衛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 354
3. 書名 「第1部 第2章 古代・中世の景観変化と気候変動 - 東京湾東岸における沖積平野の変遷を中心に 」中 塚武（監修『）気候変動から読み直す日本史4 気候変動と中世社会』 pp. 37-74.	

1. 著者名 杉山三郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 265
3. 書名 「古代メソアメリカのモニュメント 象徴する世界観と王権 」松木武彦・福永伸哉・佐々木憲一（編） 『日本の古墳はなぜ巨大なのか 古代モニュメントの比較考古学』 pp. 70-91.	

1. 著者名 鶴見英成	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 741
3. 書名 「神殿と文明」ラテンアメリカ文化事典編集委員会（編）『ラテンアメリカ文化事典』pp.36-37.	

1. 著者名 山本睦	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 741
3. 書名 「古代アメリカの交易」ラテンアメリカ文化事典編集委員会（編）『ラテンアメリカ文化事典』pp.48-49.	

1. 著者名 山本睦	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 741
3. 書名 「中間領域の諸文明」ラテンアメリカ文化事典編集委員会（編）『ラテンアメリカ文化事典』pp.58-59.	

1. 著者名 丸善出版	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 716
3. 書名 「トウモロコシ」野林厚志編『世界の食文化百科事典』p.40-41.	

1. 著者名 Kataoka, O	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Association for the Promotion of International Cooperation	5. 総ページ数 42
3. 書名 Nan Madol: A Megalithic Ceremonial Center in Micronesia and UNESCO World Heritage Site	

1. 著者名 光本順（編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岡山大学考古学研究室	5. 総ページ数 145
3. 書名 津倉古墳	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>A01班：人工的環境の構築と時空間認知の発達 http://out-of-eurasia.jp/members/program/a01/index.html</p> <p>arcAstroVR（考古天文学研究のためのVRシミュレーター） https://arcastrovr.org/ja/</p> <p>「延喜式内社データベース」「祭祀遺跡データベース」 國學院大學デジタルミュージアムよりアクセス https://d-museum.kokugakuin.ac.jp/database/#ess</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	北條 芳隆 (Hojo Yoshitaka) (10243693)	東海大学・文学部・教授 (32644)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	関口 和寛 (Sekiguchi Kazuhiro) (20280563)	国立天文台・研究力強化戦略室・名誉教授 (62616)	
研究分担者	光本 順 (Mitsumoto Jun) (30325071)	岡山大学・社会文化科学学域・准教授 (15301)	
研究分担者	後藤 明 (Goto Akira) (40205589)	南山大学・人類学研究所・研究員 (33917)	
研究分担者	杉山 三郎 (Sugiyama Saburo) (40315867)	岡山大学・文明動態学研究所・特任教授 (15301)	
研究分担者	野嶋 洋子 (Yoko Nojima) (50586344)	独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館・アジア太平洋 無形文化遺産研究センター・室長 (82619)	
研究分担者	山本 睦 (Atsushi Yamamoto) (50648657)	山形大学・人文社会科学部・准教授 (11501)	
研究分担者	笹生 衛 (Sasou Mamoru) (60570471)	國學院大學・神道文化学部・教授 (32614)	
研究分担者	山口 徹 (Yamaguchi Toru) (90306887)	慶應義塾大学・文学部（三田）・教授 (32612)	

6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	片岡 修 (Kataoka Osamu) (90269811)	上智大学・アジア人材養成研究センター・客員教授 (32621)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 協力者	井上 幸孝 (Inoue Yukitaka)		
研究 協力者	鈴木 真太郎 (Suzuki Shintaro)		
研究 協力者	清家 章 (Seike Akira)		
研究 協力者	山口 雄治 (Yamaguchi Yuji)		
研究 協力者	ロブレス ネリー (Robles Nelly)		
研究 協力者	大谷 博則 (Otani Hironori)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	千葉 裕太 (Chiba Yuta)		
研究協力者	木村 大樹 (Kimura Daiki)		
研究協力者	高田 裕行 (Takata Hiroyuki)		
研究協力者	ロレット バリー (Rolett Barry)		
研究協力者	岩城 邦典 (Iwashiro Kuninori)		
研究協力者	棚橋 訓 (Tanahashi Satoshi)		
研究協力者	深山 直子 (Fukayama Naoko)		
研究協力者	山野 博哉 (Yamano Hiroya)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	オスカル アリアス (Oscar Arias)		
研究協力者	バルガス ファン・パブロ (Vargas Juan Pablo)		
研究協力者	塩川 哲朗 (Shiokawa Tetsuro)		
研究協力者	深澤 太郎 (Fukasawa Taro)		
研究協力者	楠 恵美子 (Kusunoki Emiko)		
研究協力者	シン リチャード (Shing Richard)		
研究協力者	ウィリー エドソン (Willie Edson)		
研究協力者	セウレ シリ (Seoule Siri)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	サンチェス ペドロ・フランシスコ (Sanchez Pedro Francisco)		
研究協力者	ロペス マルタ・ロレンサ (Lopez Martha Lorenza)		
研究協力者	杉山 奈和 (Sugiyama Nawa)		
研究協力者	カーン ジェニファー (Kahn Jennifer)		
研究協力者	北村 繁 (Kitamura Shigeru)		
研究協力者	デ・ロス・リオス ガブリエラ (de Los Rios Gabriela)		
研究協力者	ニエバス ジャンポール (Nieves Jean Pool)		
研究協力者	ママニ ステファニー (Mamani Stefani)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	ビジェガス ガブリエル (Villegas Gabriel)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計6件

国際研究集会 Multi-disciplinary studies of 'islandscape' as a meshwork	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 Frontiers of Archaeological Site Survey	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 国際研究会議（メキシコ）Out of Eurasia, International Academic Meetings in Mexico	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 国際フォーラム（メキシコ）Foro de Arqueologia Cognitiva: Monumentos, Arte, y Cuerpo Humano, afuera de Eurasia	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 国際研究会議（ハワイ）Trekking Shores, Crossing Water Gaps, and Beyond: Maritime Aspects in the Dynamics of "Out of Eurasia" CivilizationsのProceedings	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 国際研究会議（東京）The Creation of Royalty in "Out of Eurasia" civilizations: Exploring the mechanism of the Emergence of Transcendent Power	開催年 2023年～2023年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
メキシコ	メキシコ国立人類学歴史学研究所			
ペルー	サン・マルコス大学			
エクアドル	クエンカ市考古局	沿岸工科大学（ESPOL）		
ペルー	ペルー国立トルヒーヨ大学	ペルーカトリカ大学		
ミクロネシア	ポーンベイ州歴史保存局			
バヌアツ	バヌアツ文化センター（国立博物館）			
米国	CSRM Foundation			
米国	カリフォルニア大学リバーサイド校			

共同研究相手国	相手方研究機関			
クック諸島	南太平洋大学クック諸島キャンパス			